



1999年 7月20日

発行 / (社)三原青年会議所
編集 / 広報委員会
三原市皆実4丁目8番1号
(三原商工会議所内)
TEL(0848)63-3515
FAX(0848)62-1141

インターネットアドレス
<http://www.tako.ne.jp/~mjc/>
メールアドレス mjc@tako.ne.jp

'99三原JCスローガン

壁を破れ!

できないのではなく、
やらないだけ。
やる気があれば
いつか必ずできる!

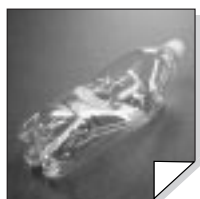
今月号の記事

- 1面 ペットボトル回収 1周年
- 2面 激論!!教育サミット
- 3面 めざせ広域交流 /
1999年度(社)三原青年会議所新入会員紹介
- 4面 第24回三原やっさ祭り

みたか
きいたか



今、この「やっさもっさ」を、読者の皆さんが無事に読んでいたら、かの著名な予言書の一説は何だったのであろうか。諸説あるのだから、7の月に人類が滅亡する...と言うノストラダムスの予言である。一抹に感じていた不安も、7月が例年のごとく過ぎて行くことで、徐々に消えて行く。予言ではなく事実を言おう。人類は滅亡の危機に直面しており、山積する問題は一つ解決されていない。ダイオキシンに代表される環境問題も、連日のようにマスコミを通じて報道されている。それにもかかわらず大部分の人が、恐怖を感じているものどころか人任せである。毎日の生活やごみを地球温暖化や環境ホルモンに結び付けて考えている人は、まだごく僅かではないだろうか。知っているということ、知って行動に移すということは根本的に違う。ただ憂いているだけ、行政任せ、人任せでは地球環境は決して改善されないということを、私達は肝に命じておかなければならない。ある調査結果によると、行動を起こす人の比率が全体の7%を越えると、物事が飛躍的に発展するらしい。人任せではなく「私が」と言う第1人称で、地球環境にやさしい消費者(グリーンコンシューマー)として、出来ることから行動を起こすことが今こそ必要だ。「私が」こつこつやって行く、この気概が何よりも大切な気がする。そう、ノストラダムスの言う「恐怖の大王」とは、もしかしたら人類の無関心、無行動なのかもしれない。



それは、1本のペットボトルから 始まった...



1998年2月
**リサイクルで
未来クル懇談会**
ペットボトル自主回収
に向け協議

1998年4月

回収業者有すずか、
三原市内各店舗へ、
自主回収に向けて、
協力をお願い



1998年7月

ペットボトル
自主回収スタート
やっさもっさ7月号、
各店舗にてPR



1999年2月

5%目標達成!
さらに10%を目指す



1999年7月

ペットボトル回収
店舗にて再生品の
展示PR

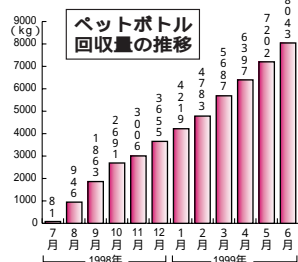


1999年7月

年間目標7700kgを上回る

8000kg
(1.5リットル134000本分)

市民の力で
達成!



The 1st Anniversary 7月20日(火) ペットボトル回収 1周年記念イベント開催

ペットボトル・トレー・牛乳パック等を ■素敵な再生品プレゼント!
お持ちいただいた方

市民の皆様への感謝の意を表し、ペットボトル回収1周年記念イベントを開催いたします。各店頭で回収していますペットボトル、トレー、牛乳パック等をお持ちいただいた方に手袋、シャープペンシル、ノート等再生品をプレゼント致します。全店舗合わせて1000個余りご用意しておりますが無くなり次第終了いたします。当日は三原市長も応援にかけつけていただきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

日時 7月20日(火)
10:00~12:00
場所 ペットボトル回収ボックス設置店舗

回収ボックス設置店舗	ジャスコ三原店	ベルファニー三原江南店	ニチエー宮浦店
	三原スーパーバルディ駅前店	フジグラン三原店	ニチエー宮浦西店
	三原スーパーバルディ皆実店	ダイヤモンド中之町店	ユアーズ三原店
	三原スーパーバルディ明神店	ニチエー江南店	
	フレスタ三原店	ニチエー沼田東店	

...市民の皆さんありがとう!

2000年 さあ! 次の ステップへ

グリーンコンシューマーになろう!
実はペットボトルも回収だけではリサイクルになりません。再生された商品を使って初めて循環型の社会が築かれるのです。ペットボトル以外にも再生トイレットペーパーや再生コピー用紙、アルミ缶やトレイを再生した商品等たくさんあります。再生品を優先的に買いましょ。資源の回収も大切ですが、もっと大切なことがあります。それは、ゴミの減量です。買い物に行くとき買い物袋を持参する。衣類、靴などリフォームして使う。シャンプーやリンスなど繰り返し使える詰め替え用のものを使う。ブックカバーやクリーニングのハンガーを断る等、日常のちょっとしたことを心がけることで随分とごみは減量できます。今一度自分のライフスタイルを考えてみてはいかがでしょうか。環境のことを考えて買い物をする人をグリーンコンシューマーと呼びます。私たち市民一人ひとりがグリーンコンシューマーになって、心地良い循環型のまちをつくりいきましょう!

本紙『やっさもっさ』は、1月から11月まで毎月1回3万2千部発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。

やっさもっさは資源保護のため再生紙を利用しています。